

## 総務文教常任委員長報告

(R 1. 1 0. 1)

総務文教常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、第 1 号議案、令和元年度一般会計補正予算（第 2 号）の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、

**総務費**では、反復の多い単純作業を自動化するツールである R P A の導入により、業務の効率化を図るための、情報化推進経費の増額補正、及び地方財政法の規定に基づき、平成 3 0 年度決算剰余金の一部を財政調整基金に積み立てるための、財産管理経費の増額補正、

**消防費**では、国の消防団設備整備費補助金を活用し、消防団の災害対応能力を更に向上させるため、エンジンカッターなどの資機材を充実するための、消防施設整備事業費の増額補正、

**教育費**では、学校給食センターの蒸気ボイラーの故障に対応するための、給食センター管理経費の増額補正、及び、大河ドラマ放映により増加が見込まれる交流人口を文化資料館へと誘客するため、ソフト面とハード面の双方を充実させるための、文化資料館管理経費の増額補正、

**災害復旧費**では、**昨年**の台風21号被害により被災し、応急対応復旧した市庁舎外壁等の本復旧を行うための、**過年**庁舎災害復旧事業費の増額補正であります。

RPAの導入については、導入後、効果を検証し、適宜議会に報告されるよう望み、**採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。**

次に、**第6号議案、令和元年度畑野財産区特別会計補正予算（第1号）**については、財産区林を伐採するための、管理費の増額補正であり、**別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。**

次に、**第7号議案、地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定**については、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により地方公務員法が改正されたことに伴い、関係する条例について所要の規定整備を図るものであり、**採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。**

次に、**第9号議案、亀岡市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定**については、子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、幼児教育・保育の無償化が開始されることを受け、亀岡市立幼稚園の保育料を無償とするとともに、所要の規定整備を図るものであり、**採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。**

次に、**第 11 号議案、亀岡市立図書館条例の一部を改正する条例の制定**については、新たに図書館中央館第 2 駐車場を設置するとともに、使用料を定めるものであります。

**採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。**

**なお、指摘要望事項として**

駐車場の運用に際しては、図書館運営規則に規定する公共施設利用者の実情を考慮し、より安全性や利便性が高まるよう努めることを指摘要望するものであります。

**以上、簡単であります、本委員会の報告といたします。**

## ○RPAの導入により行政事務を効率化

### ○消防団の装備・資機材を充実

一般会計補正予算

可決（全員賛成）

・情報化推進経費

573万円増額

総務省のRPA導入補助事業の採択を受け、ソフトウェアのライセンスやAI・OCR機（AI（人工知能）の活用により識字率を向上させた、文字を読み取る機械）などを購入するための増額補正。

RPA（ロボティク・プロセス・オートメーション）とは、職員がパソコンで行っている反復の多い単純作業を自動化する技術のこと。

業務が多様化・複雑化する中、RPAを導入し定型的な手作業を自動化することにより、入力ミスや点検作業も

なくす。業務効率化により生み出される時間は、相談・訪問・企画などの職員にしかできない仕事に充て住民サービスの向上を図る。

導入後、業務効率化による具体的な効果を検証し、議会に対して報告するよう要望した。

・消防施設整備事業費

1236万円増額

消防団の災害対応能力をさらに向上させるため、災害時の救助活動に使用する資機材を充実するための増額補正。

市内各町19分団に

コンクリートや金属などを切断できるエンジンカッターと油圧切断機を配備することで、地域防災力の向上が期待される。

